社会資本総合整備計画　　社会資本整備総合交付金　　令和02年09月18日

計画の名称	やかげ宿地区都市再生整備計画													
計画の期間	平成３１年度　～　令和０５年度　(5年間)											重点配分対象の該当		
交付対象	矢掛町													
計画の目標	宿場町「やかげ宿」の歴史的町並みとその玄関口となる道の駅を活用した交流と賑わいの創出 目標１：歴史的町並みの活用と保全推進する。 目標２：道の駅を玄関口とした周辺観光地への誘導及び回遊性の向上を図る。 目標３：住民がおもてなしの主役となる観光地づくりを推進する。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	1,135	A	1,135	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28		R5
1	宿場町「やかげ宿」の町並みの魅力向上を図る景観整備、観光客の増加による交流と賑わい、来訪者の周辺観光地への誘導・回遊性の向上、官民協働による観光地づくりを目指す。			
	観光客数 やかげ宿地区の主要な観光施設（矢掛本陣、脇本陣、やかげ郷土美術館、やかげ町家交流館）の来訪客数	107千人/年	千人/年	118千人/年
2	宿場町「やかげ宿」の町並みの魅力向上を図る景観整備、観光客の増加による交流と賑わい、来訪者の周辺観光地への誘導・回遊性の向上、官民協働による観光地づくりを目指す。			
	空き家、空き地を活用した新規店舗数 やかげ宿地区の空き家、空き地を活用した新規店舗数　当初（H27～H29）→最終（H27～R5）	8軒	軒	20軒
3	宿場町「やかげ宿」の町並みの魅力向上を図る景観整備、観光客の増加による交流と賑わい、来訪者の周辺観光地への誘導・回遊性の向上、官民協働による観光地づくりを目指す。			
	町並みガイド案内数 町並みガイドが案内する観光客数	2500人/年	人/年	3000人/年

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

案件番号：　0000238785

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H31	R02	R03	R04	R05	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	矢掛町	直接	矢掛町	－	－	やかげ宿地区都市再生整備計画事業	高質空間形成施設等　26ha	矢掛町	■	■	■	■	■	1,135		－
											小計						1,135		
											合計						1,135		

案件番号： 0000238785

交付金の執行状況

（単位：百万円）

	H31				
配分額（a）	32				
計画別流用増△減額（b）	0				
交付額（c=a+b）	32				
前年度からの繰越額（d）	0				
支払済額（e）	15				
翌年度繰越額（f）	17				
うち未契約繰越額(g)	17				
不用額（h = c+d-e-f）	0				
未契約繰越率+不用率（i = (g+h)/(c+d))%	53.12				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： やかげ宿地区都市再生整備計画

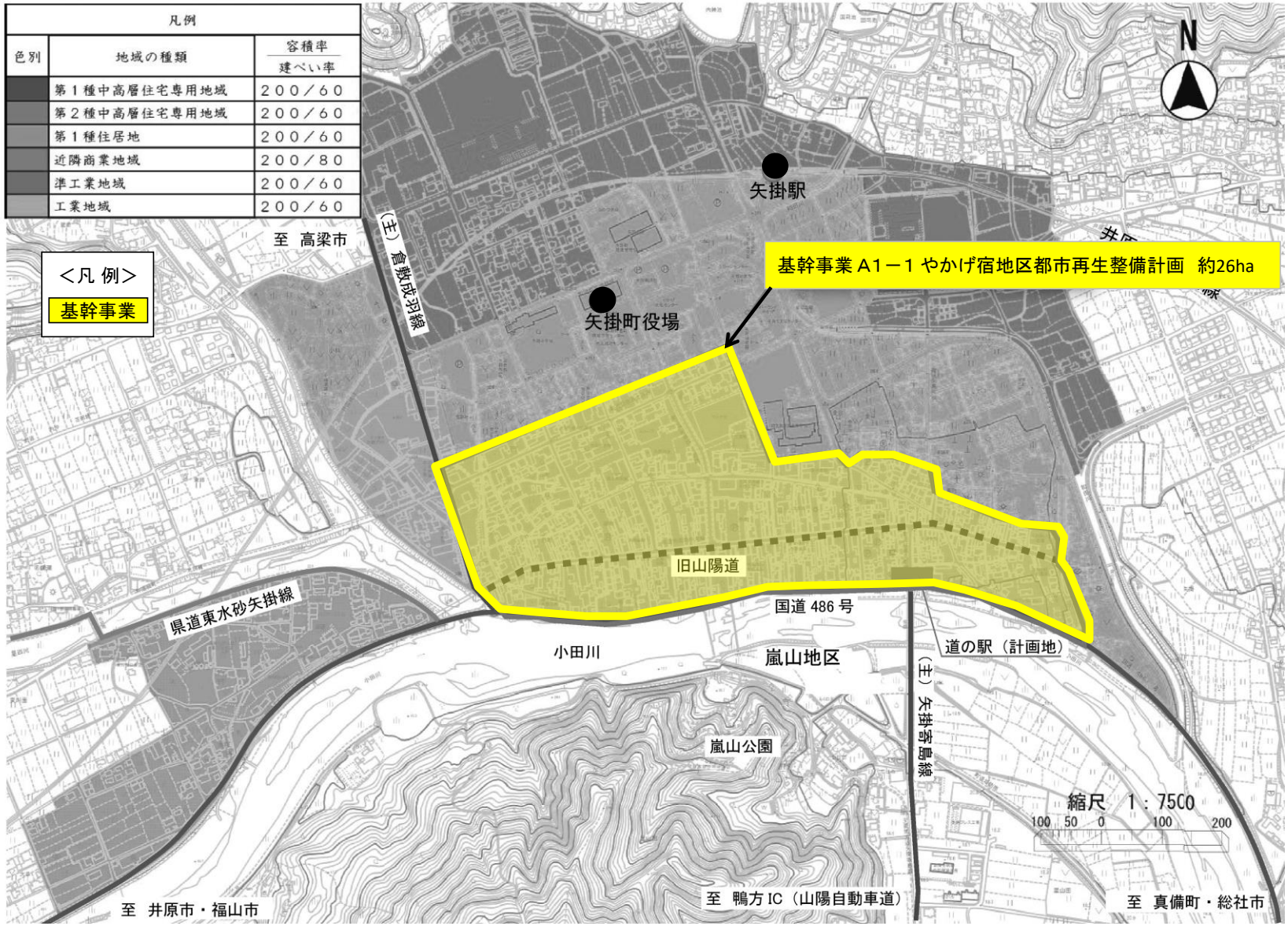
事　前　評　価	チェック欄
I.　目標の妥当性 ①都市再生基本方針との適合等　１）まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I.　目標の妥当性 ①都市再生基本方針との適合等　２）上位計画等と整合性が確保されている。	○
I.　目標の妥当性 ②地域の課題への対応　１）地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I.　目標の妥当性 ②地域の課題への対応　２）まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II.　計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等　１）目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II.　計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等　２）指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II.　計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等　３）目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II.　計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等　４）指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II.　計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等　５）地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II.　計画の効果・効率性 ④事業の効果　１）十分な事業効果が確認されている。	○
II.　計画の効果・効率性 ④事業の効果　２）事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III.　計画の実現可能性 ⑤地元の熱意　１）まちづくりに向けた機運がある。	○
III.　計画の実現可能性 ⑤地元の熱意　２）住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III.　計画の実現可能性 ⑤地元の熱意　３）継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III.　計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境　１）計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

案件番号：0000238785

事　　前　　評　　価	チェック欄
III．計画の実現可能性	
⑥円滑な事業執行の環境　２）交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	○
III．計画の実現可能性	
⑥円滑な事業執行の環境　３）計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

社会資本総合整備計画　参考図面

計画の名称	やかげ宿地区都市再生整備計画		
計画の期間	平成３１年度～令和５年度	交付対象	矢掛町



都市再生整備計画（第3回変更）

やかげ宿（しゅく）地区

岡山県　矢掛町（やかげちょう）

令和 2 年 9 月 18 日

事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	□
都市再生整備計画事業	■
まちなかウォーカブル推進事業	□

目標及び計画期間

様式（1）-②

都道府県名	岡山県（おかやまけん）	市町村名	矢掛町（やかげちょう）	地区名	やかげ宿（しゅく）地区	面積	26 ha

計画期間	平成 31 年度 ～ 令和 5 年度	交付期間	令和 31 年度 ～ 令和 5 年度

目標

宿場町「やかげ宿」の歴史的町並みとその玄関口となる道の駅を活用した交流と賑わいの創出
目標1：歴史的町並みの活用と保全を推進する
目標2：道の駅を玄関口とした周辺観光地への誘導及び回遊性の向上を図る
目標3：住民がおもてなしの主役となる観光地づくりを推進する

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況
・矢掛町は岡山県の南西部に位置する人口約15千人の町。岡山県で有数の観光地である倉敷市から車で35分、県都岡山市から60分の位置にある。
・町の中央には小田川の清流が流れ、自然豊かな里山と田園風景が広がっている。
・町中心部の市街地エリアには国道486号と並行する旧山陽道の町並み（やかげ宿）は江戸時代、宿場町として栄え「岡山県町並み保存指定地区」の1つに指定され今でも当時の面影を残す町並みが残っており、参勤交代で往来する大名が宿泊した旧矢掛本陣石井家住宅と旧矢掛脇本陣高草家住宅は、どちらも国の重要文化財に指定されている。
・この旧街道には本陣・脇本陣以外にも江戸時代の建物が多く残っており、近年は街道沿いの古民家を再生した商業施設の立地や日曜朝市、週末イベント、大名行列、行灯まつり、流しびな行列、本陣マラソン大会等の多彩なイベントが開催され来訪者が増加している。
・矢掛町では平成27年度を「観光元年」と銘打ち、産業観光課を新設、観光と産業の活性化による賑わいの町づくりに取り組んでいる。
・平成28年3月に策定された「第6次矢掛町振興計画」では「歴史的・文化的資源を活用した観光振興による賑わいの創出」の推進施策で旧山陽道の観光エリア（やかげ宿）の玄関口として「地域連携機能」（総合的な観光案内サービス機能）、「休憩機能」、「情報発信機能」を有する道の駅の整備が計画され、さらなる観光客の増加による交流と賑わいの向上が期待されている。

課題
宿場町「やかげ宿」の町並みの魅力向上を図る景観整備と来訪者の周辺観光地への誘導・回遊性を促す環境づくりが課題である。
・空き家、空き地の有効利用による商店街の活性化が必要である。
・旧山陽道や小路の歴史的な雰囲気を活かした「周遊・散策ルート」の整備と地域住民と観光客が交流できる「イベントエリア」の整備が必要である。
・既存の駐車場が市街地エリア内に点在しているが、来訪者への情報提供や誘導案内が十分でなく効果的に活用できていない状況であり、利便性の高い効果的な活用が必要である。

将来ビジョン（中長期）
〇第6次矢掛町振興計画（H28.3月）
【まちづくりの基本理念】「ひとが輝き☆　地域が輝き☆　まちが輝き☆　笑顔あふれるまちづくり」
【施策の方向性】
■観光の振興
①安心で快適に楽しめる観光地づくり　②観光機能の強化
■文化の振興
①文化財の保護及び活用
■快適な生活空間の整備
①うるおいのある市街地の形成　②自然・歴史を生かした周辺地域の形成　③やさしさを感じられる施設整備

目標を定量化する指標

指　標	単　位	定　義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
観光客数	人/年	やかげ宿地区の主要な観光施設（矢掛本陣、脇本陣、やかげ郷土美術館、やかげ町家交流館）の来訪客数	交流と賑わいを示す指標	107千人/年	H28	118千人/年	R5
空き家、空き地を活用した新規店舗数	軒	やかげ宿地区の空き家、空き地を活用した新規店舗数	回遊性の向上と賑わいを示す指標	8軒（H27～H29）	H29	20軒（H27～R5）	R5
町並みガイド案内数	人/年	町並みガイドが案内する観光客数	官民協働による観光地づくりを示す指標	2,500人/年	H28	3,000人	R5

整備方針等

様式（1）-③

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
整備方針1： 「目標1：歴史的町並みの活用と保全を推進する」に対する方針 （1）歴史的な町並みの魅力と一体感の向上を図るため、小路や既存のポケットパークの高質化を進める。 （2）歴史的な町並みを継承するため、古民家再生を支援する。	＜基幹事業＞ ■高質空間形成施設 ・道路、小路の高質化 （町道市街地中央線、町道東町南線、商店街北通、脇本陣裏通、田町小路、塩屋小路、町道中町裏線、橋台小路、町道弦橋元町線、元町小路） ＜提案事業＞ □地域創造支援事業 ・古民家再生事業
整備方針2： 「目標2：道の駅を玄関口とした周辺観光地への誘導及び回遊性の向上を図る」に対する方針 （1）道の駅から周辺観光地への誘導と回遊を促すための案内板を整備する。 （2）観光地の新たな魅力づくりのため、遊休地を活用したイベント広場を整備する。 （3）観光地の夜間のイメージアップを図るため、散策路や景勝地のライトアップを実施する。 （4）回遊状況の調査等による事業効果を確認する。	＜基幹事業＞ ■生活基盤施設事業 ・市街地看板の整備（道の駅整備後の散策ルートに係る案内板の設置） ・イベント広場整備（西町 土地開発公社所有地 活用による賑わい拠点整備） ・ふれあい広場整備による回遊性の向上と町民庭園（緑陰）の充実 ・ポケットパークの整備（あいおいの庭、ポケットパーク；町屋交流館前広場の再整備） ・交流広場（旧マルナカ跡地） ■高質空間形成施設 ・商店街北通・脇本陣通り・町道市街地中央線・橋台小路の街路灯整備（歩行者支援） ・町道市街地中央線・田町小路の放送設備整備【音声案内】 ■駐車場有効利用システム ・市街地に点在する駐車場の有効活用による利便性の向上 ＜提案事業＞ □まちづくり活動推進事業 ・デジタルサイネージの活用（市街地設置8基の有効活用） ・商店街北通のライトアップ □事業活用調査 ・観光計画策定事業 ・事業効果の事後評価
【既成市街地外縁部における生活機能の確保】 整備方針3： 「目標3：住民がおもてなしの主役となる観光地づくりを推進する」に対する方針 （1）観光客と地域住民との交流、地域伝統文化の紹介・体験・学習の場として旧マルナカ跡地を活用・整備する。 （2）おもてなしの主役となる町並みガイドの養成、外国語に対応したおもてなしソフト事業を推進する。	＜基幹事業＞ ■高次都市施設 ・.観光交流施設（旧マルナカ跡地） ＜提案事業＞ □まちづくり活動推進事業 ・町並みガイドの養成、おもてなしソフト事業（外国語対応）

その他

〇町並みガイドについて
観光案内の中心となる「町並みガイド」については現在の15人から30人体制への増員を計画しており、休日は10～20人による対応が可能なサービスを目指しています。またインバウンド対応としてパンフレット、案内ソフト等への外国語ガイドを充実させます。

〇情報インフラ整備について
・矢掛町では「やかげ宿商店街周辺」へ公衆無線LAN（WI-FI）整備として平成28年度補正予算1,090万円を計上し、情報インフラの整備を進めています。
※やかげ宿商店街には、江戸時代から続く菓子店や煎餅屋、醤油製造店、麩製造店など、老舗の製造販売業9軒、文房具や食品販売、雑貨などの小売店が47軒、飲食店が12軒、美容や金融機関などのサービス業15軒、医療関係が4軒、建設関連業が4軒などの構成になっている。

〇古民家再生事業について
・「空き家活用新規創業支援事業」（平成27－29年度）により旧街道沿いの古民家を再生したカフェ等の8店舗が開業立地し、町並みの景観保全と賑わいづくりに取り組んでいます。

〇関連事業について
・歴史的町並み観光エリアへ誘導するための玄関口（ゲートウェイ）を整備するため、道の駅整備事業を実施します。
・旧山陽道（町道市街地中央線）の無電柱化については「無電柱化モデル事業」で実施します。
・やかげ宿地区の南側、小田川をはさんで隣接する「嵐山地区」では、別途事業（地方創生交付金事業を予定）にて「嵐山地区整備事業」として嵐山公園整備、エントランス整備、河川環境整備を計画しています。やかげ宿地区に計画されている「道の駅」とは徒歩圏内となっており、自然とふれあう町民の憩いの場、来訪者のレクリエーションの場として当該事業との相乗効果が期待されています。
・「観光アプリの実施」については嵐山地区と同様に（地方創生交付金事業）として「AR、VRソフト事業」によりインバウンドへの対応を含めた観光案内を充実させる予定としています。また、道の駅に隣接する小田川左岸の護岸の修景整備、右岸の親水護岸整備ならびに嵐山エントランスへ接続する県道矢掛寄島線の交差点改良も合わせて行います。

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項（都市再生整備計画事業）

様式（1）-④-2

交付対象事業費	950	交付限度額	380.0	国費率	0.4

（金額の単位は百万円）

基幹事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間 開始年度	（参考）事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	（参考）全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	費用便益比 B／C
道路															
公園															
古都保存・緑地保全等事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム		市街地における観光駐車場	矢掛町	直	7箇所	H31	R2	H31	R2	67	67	67		16	－
地域生活基盤施設	情報板	市街地看板の整備	矢掛町	直	17箇所	R2	R2	R2	R2	7	7	7		7	－
	イベント広場	西町　土地開発公社所有地	矢掛町	直	A=1,300㎡	H31	R2	H31	R2	111	111	111		111	－
	ふれあい広場	ふれあい広場	矢掛町	直	A=2,000㎡	R2	R3	R2	R3	58	58	58		14	－
	ポケットパーク	あいおいの庭、ポケットパーク	矢掛町	直	L=155m	R3	R4	R3	R4	82	82	82		82	－
	交流広場	旧マルナカ跡地	矢掛町	直	A=1,500㎡	R3	R5	R3	R5	52	52	52		52	
高質空間形成施設	街路灯整備	商店街北通　他3箇所	矢掛町	直	L=930m	H31	R2	H31	R2	87	87	87		87	－
	街路舗装等高質化	町道市街地中央線　他6箇所	矢掛町	直	L=1,843m	H31	R4	H31	R4	276	276	276		276	－
	小路整備	塩屋小路　他2箇所	矢掛町	直	L=230m	H31	R2	H31	R2	23	23	23		23	－
	放送設備整備【音声案内】	町道市街地中央線、田町小路	矢掛町	直	40箇所	H31	R2	H31	R2	12	12	12		12	－
高次都市施設	観光交流施設	旧マルナカ跡地	矢掛町	直	A=5,000㎡	R3	R5	R3	R5	273	273	273		198	－
既存建造物活用事業															
住宅街区整備事業															
バリアフリー環境整備事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地総合整備事業															
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
合計										1,048	1,048	1,048	0	878	…A

提案事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間 開始年度	（参考）事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	（参考）全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
地域創造支援事業	古民家再生事業	市街地（やかげ宿エリア）	矢掛町	直	10軒	H31	R5	H31	R5	45	45	30	15	30
事業活用調査	観光計画策定事業	市街地（やかげ宿エリア）	矢掛町	直	－	R2	R3	R2	R3	7	7	7		7
	事後評価	市街地（やかげ宿エリア）	矢掛町	直	－	R5	R5	R5	R5	5	5	5		5
まちづくり活動推進事業	町並みガイドの養成/おもてなしソフト事業（外国語対応）	市街地（やかげ宿エリア）	矢掛町	直		H27	R5	H31	R5	14	10	10		10
	デジタルサイネージの活用	市街地（やかげ宿エリア）	矢掛町	直	8箇所	H30		H31	R5	10	10	10		10
	観光ライトアップ	商店街北通	矢掛町	直	1箇所	H30		H31	R5	10	10	10		10
合計										91	87	72	15	72 …B
													合計(A+B)	950

（参考）都市構造再編集中支援事業関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	（いずれかに○） 直轄	補助	地方単独	民間単独	事業期間 開始年度	終了年度	全体事業費
合計											0

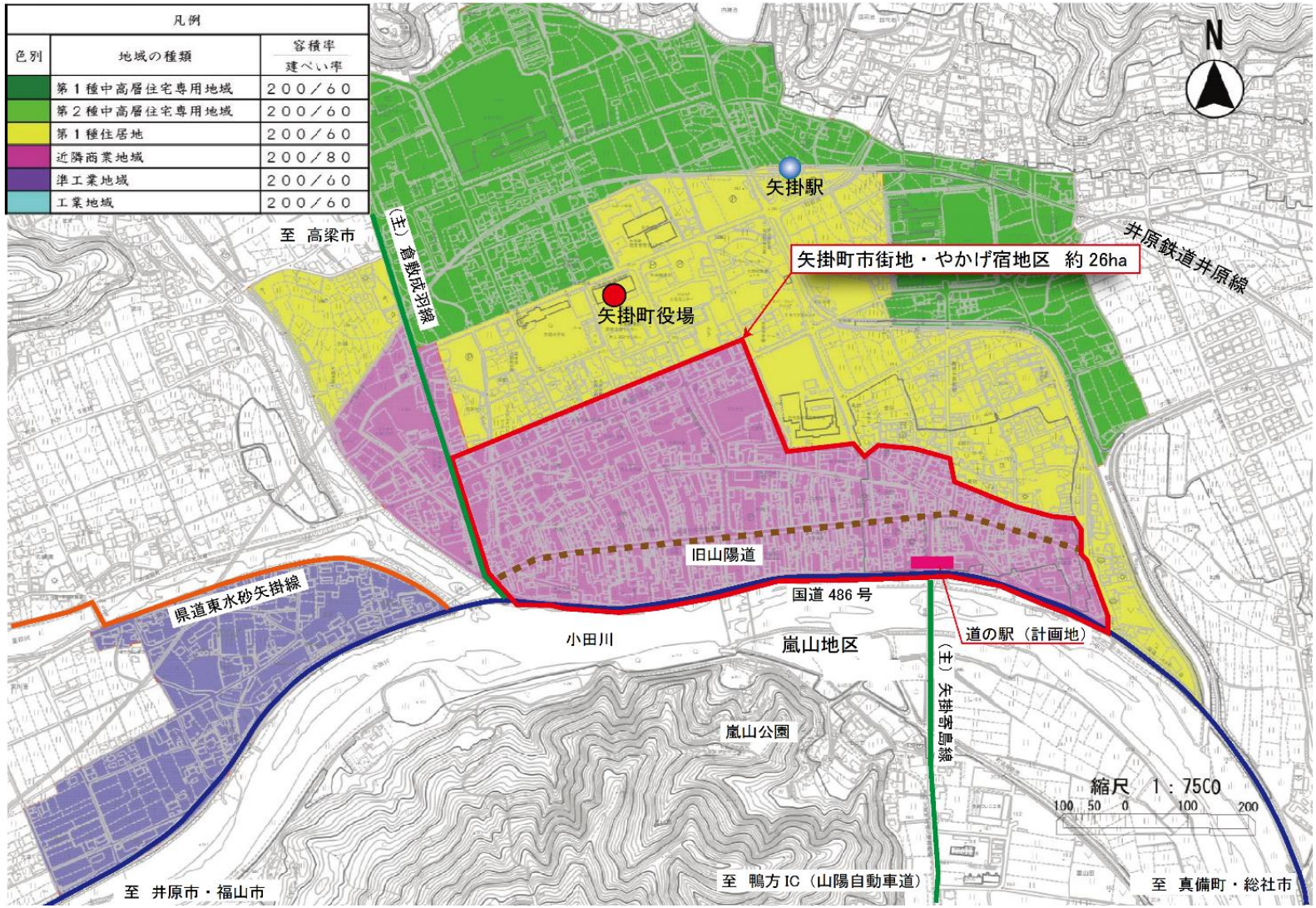
（参考）関連事業

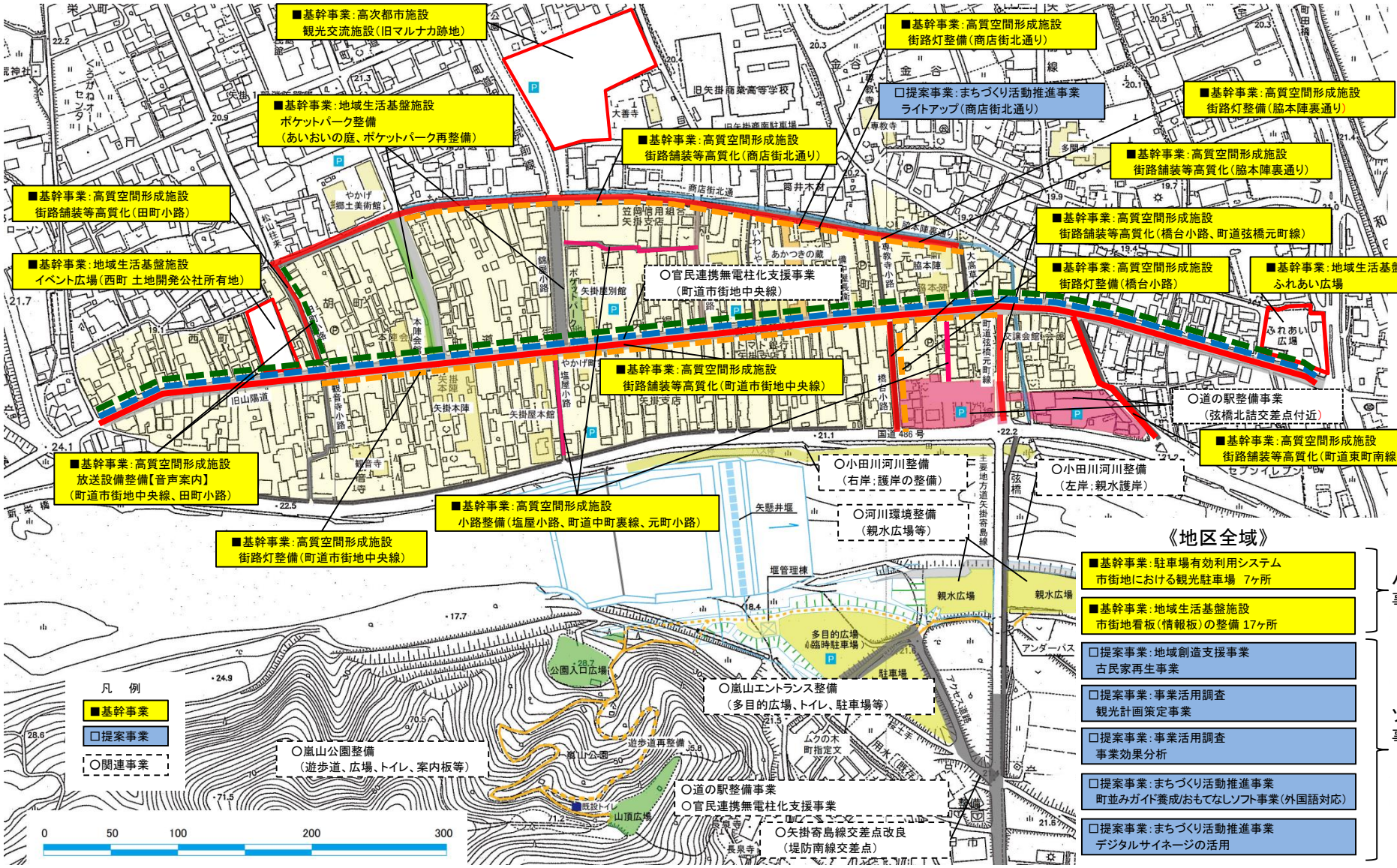
事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	（いずれかに○） 直轄	補助	地方単独	民間単独	事業期間 開始年度	終了年度	全体事業費
道の駅整備事業	弦橋北詰交差点付近	岡山県／矢掛町	国土交通省	A=4,000㎡		○	○		H30	R2	800
無電柱化モデル事業	旧山陽道（町道市街地中央線）	矢掛町	国土交通省	L=970m		○			H31	R2	140
嵐山地区整備事業	嵐山公園	矢掛町	未定	A=1.5ha		○			R3	R5	128
	エントランス整備	矢掛町	国土交通省	A=3,500㎡		○			H30	H31	196
	河川環境整備	矢掛町	国土交通省	A=5,000㎡		○			H30	H31	40
観光アプリの実施	町内観光施設・観光連携エリア	矢掛町	内閣府	－		○			H31	H31	30
小田川河川整備事業	左岸　護岸の整備	岡山県	国土交通省	A=2,900㎡		○			H30	H31	18
	右岸　親水護岸の整備	岡山県	国土交通省	L=40m		○			H30	H31	25
主要地方道 矢掛寄島線交差点改良	町道堤防南線交差点	岡山県	国土交通省	1ヶ所		○			H30	H31	43
合計											1,420

都市再生整備計画の区域

様式（1）-⑥

やかげ宿地区（岡山県小田郡矢掛町）	面積	約26 ha	区域	矢掛町　矢掛、小林の一部（近隣商業地域の一部）



やかげ宿地区（岡山県小田郡矢掛町） 整備方針概要図

目標	宿場町「やかげ宿」の歴史的町並みとその玄関口となる道の駅を活用した交流と賑わいの創出	代表的な指標	観光客数	（人/年）	107千人/年	（H28年度） →	118千人/年 （R5年度） 交流と賑わいを示す指標
			空き家、空き地を活用した新規店舗数	（軒）	8軒	（H27～H29年度） →	20軒 （H27～R5年度） 回遊性の向上及び賑わいを示す指標
			町並みガイド案内数	（人/年）	2,500人/年	（H28年度） →	3,000人/年 （R5年度） 官民協働による観光地づくりを示す指標